

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年6月12日

【2017年6月3日～2017年6月9日までの推移】

【1】先週の回顧

先週レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。2年国債金利は低下しました。

ブラジルの高等選挙裁判所は、2014年の大統領選挙で不正資金が使われたとする疑惑を巡って、6日（現地、以下同様）より審議を始めました。テメル大統領の進退がかかった判決のため、市場は警戒しながらの推移となり、レアルは下落しました。

COPOM（金融政策委員会）の議事録が発表されましたが、議事録の内容により次回の利下げへの期待が強まったことが、金利の低下に寄与しました。また、発表されたインフレ率は、市場予想を下回る上昇率だったことで、金利が低下する材料になりました。

9日、高等選挙裁判所は、不正資金が使われたとの訴えを退け、テメル大統領とルセフ前大統領の当選は有効との判断を示しました。

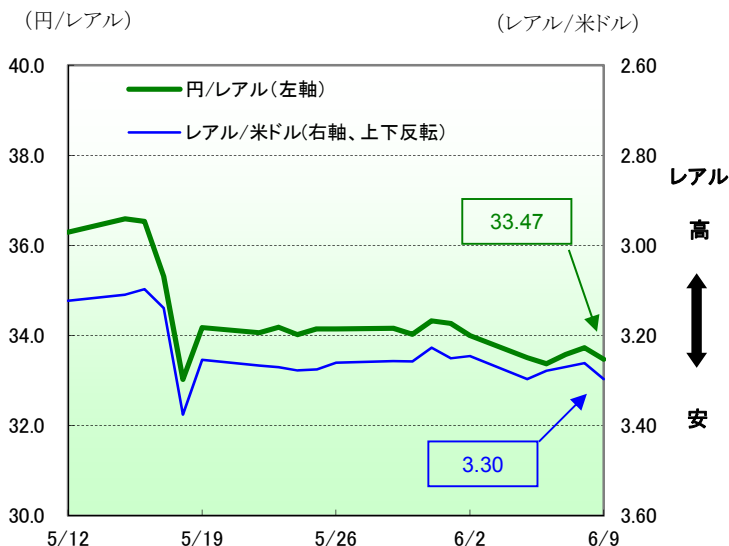
【2】今週の見通し

今週は、小売売上高や経済活動指数などの経済指標が発表されます。経済成長の底打ちを確認できる内容となるかが注目です。

一部の与野党の議員が大統領の弾劾を議会に請求しているほか、連立政権を組む一部の政党が連立を離脱する動きがみられます。また、高等選挙裁判所の判断を受けて、政局に変化が生じやすく、今後の進展を見守る必要があると考えています。

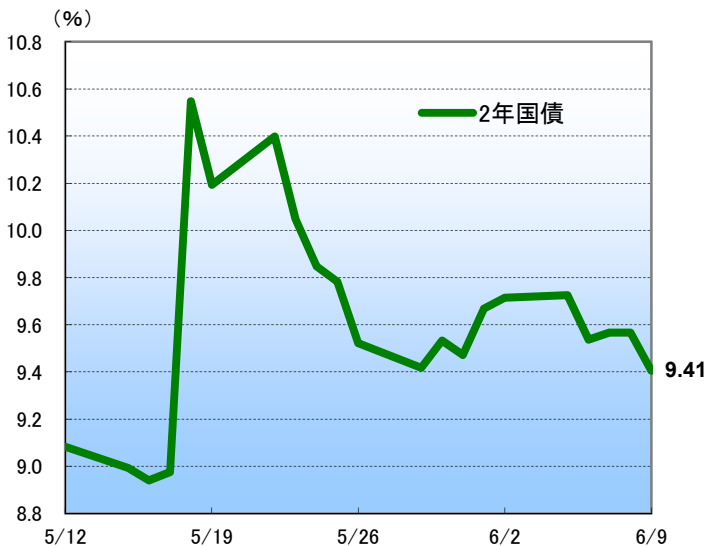
市場で注目されている年金改革を含む社会保障改革法案は、政局の混乱により、採決が遅れる見通しです。しかし、政府が財政健全化をはじめとした構造改革を着々と進める場合には、ブラジル経済に対する信認改善が、景気回復につながり、レアルを下支えすることが期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年5月12日～2017年6月9日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年5月12日～2017年6月9日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>